

安本先生が朝倉市親善大使に！

安本先生は 50 年にわたり具体的データに基づく「高天原は邪馬台国」「邪馬台国は甘木朝倉地方」「卑弥呼は天照大御神」などの説を展開して来ました。この朝倉市発展に貢献した功績で、2019 年 3 月 30 日の「邪馬台国は朝倉だった」の講演会冒頭に、林裕二朝倉市長より朝倉市親善大使委嘱状交付を受けました。

続いて邪馬台国の会から朝倉市図書館への「安本古代史シリーズ 31 巻」(勉誠出版)贈呈の報告がありました。



下記の「西日本新聞社」4 月 2 日朝刊の末広浩記者の記事を参照してください。

朝倉親善大使に安本さん邪馬台国朝倉説半世紀提唱

朝倉市は3月30日、古代のクニ、邪馬台国は朝倉に存在したとの説を提唱する元産業能率大教授の安本美典さん(85)を5人日の市親善大使に委嘱した。

安本さんの朝倉説提唱を受け、市はこれまで継続的に祭りを開催。ミス卑弥呼の選出も始まり、2019年度で37代を数える市観光大使「女王卑弥呼」へと受け継がれている。

この日は、市民団体「市まちづくり新チャレンジ大学」が主催して市内で安本さんの講演会「邪馬台国は朝倉だった！」があり、安本さんは林裕二市長から委嘱状を受け取った。

「(邪馬台国朝倉説を)唱えてもう 50 年くらい。今後も頑張っていく。朝倉の皆さんもご支援をお願いしたい」と、朝倉をアピールしていく思いを披露した安本さん。講演会では、邪馬台国の所在地論争について畿内説より九州説が有利な点を熱く語り、「(九州豪雨の復旧が)落ち着いたら市長、皆さん、発掘をすることを考えてほしい。必ずこの地から(もっと考古学上貴重な)いろんなものが出てくるはず」と訴えた。

邪馬台国の会・事務局